

# 特定非営利活動法人しんせい

## 活動概要

貢献しているSDGs目標

3, 4, 8, 10, 11, 12, 17

- 東日本大震災の原発事故で避難した人たちの中で、最も置き去りにされやすい障がい者の支援(特に障がい者の就労向上)を目指している。
- 双葉郡から避難した福祉事務所の運営が窮地に陥いる中、新たな商品を開発してネット販売につなげ、分業体制で全国からの受注に応える仕組みを構築(13福祉事務所が参加)。チャリティーではない質の高い商品づくりに、「つくる責任」を果たしつつ挑戦。  
(デットストックのデニム生地を使い、残りの生地でティッシュケースに、更なる残り生地は鍋つかみ、最後の残りは葉やカードの模様を活用。)
- 「誰ひとり置き去りにしない福島」を目標に、支援する側・される側という一方通行ではない、パートナーシップによる新しい福祉の模索と実践を重ねている。

## SDGs実施指針における実施原則(本アワード評価基準)

**普遍性:**「誰一人置き去りにしない」というSDGsの理念を、震災・原発復興後の福島で、目に見える形で継続的に体现。

**包摂性:**障がいを持つ人や福祉的配慮が必要な避難者も包含。

**参画型:**震災復興の一助になりたいという同じ想いの下、多くのNGO/NPO、企業、団体及び市民が参画。

**統合性:**企業の専門的な視点や技術を障がい者の仕事に活かし、質の高い商品づくりに挑戦することで、「作る責任」の実践。

**透明性と説明責任:**事業内容や会計実績をHP上で公開し、適切に報告することで、透明性を確保。

